



小さな積み重ね(その1)12月2日朝礼の話より

先月29日金曜日は“トイレ掃除の会”でした。お陰でトイレの臭いなくなり、しばらくの間、気持ちよくトイレを使う事ができます。掃除に協力してくれた人に感謝したいと思います。ご苦労様でした。

さて、皆さんの周りで掃除の時、「だるっ」とか「面倒くさっ」とか「なんで掃除なんかやらなあかんねん」なんていっている人はいませんか？口癖になっているのかも知れませんが、そんな言葉を聞くと気分が良いものではありません。マイナスの言葉は自分だけでなく周囲の人にも感染し、学級の雰囲気も悪くなってしまいます。では一体掃除をする事は自分にとって損な事なのでしょうか？

周りの人をよく見て下さい。目立たないけれどみんなのためになる事をコツコツとやってくれる人がきつといます。そんな人の周辺は何となく暖かな空気に包まれています。会話が優しくなりそして楽しい気分になります。掃除だけではなく、授業中だって朝の会や帰りの会、さらに、部活動でも同じです。当たり前前の事を当たり前前に誠実に続ける事で人間は成長していきます。他人のためであろうが自分のためだろうが、この小さな積み重ねを忍耐強く続ける事こそが大切です。私たちの生活は何でもない当たり前前の事、小さな事によって支えられています。そして、その積み重ねは必ず花開き、いつしか自分を大きく成長させてくれます。

小さな積み重ね(その2)12月9日朝礼の話より

サッカー日本代表の元監督岡田武史さんがこんな事をいっておられました。「勝敗を分ける80%は小さな事である。プレー中、やらなければならない時に手を抜いてしまうと、必ずといっていいほど失点につながる。勝負の神様は細部に宿り、手抜きしない事がその後の力になる。」成る程もっともだと感じました。説得力のある言葉です。

さて、来週は三者懇談があります。担任の先生から各自の課題を指摘してもらおうでしょう。また、課題を克服するためにはどうすればよいのかという事も教えてもらえるかも知れません。しかし、それを教えてもらっても、伸びる人はごく一部です。伸びるためには自分の意志・考えで動かなければなりません。この自分の意志で動くところが重要なのです。皆さんは何でも与えられる事、やってもらおう事が当たり前になっていませんか？自分が今こうしていられる事をありがたいと感じ、それが誰のお陰なのかを知っていて下さい。

もう一つ例えです。朝は自分で起きるのが当たり前ですが、目覚まし時計が鳴っても起きないで、家族の誰かに起こしてもらったとします。「早く起きなさい、学校に遅れてしまうよ」といわれた時、「遅刻するところだった。ありがたい」と感じるのか、「分かっているわ、うるさいなあ」と捉えるのかは大きな違いがあります。また、授業中に喋っていて、先生に注意されたとします。「集中しなければならない時に気が緩んでしまった。注意してもらってあり難い」と考えるのか「自分ばかり注意しやがって、うっとおしい」と考えるのか。注意されて嬉しいと感じる事ができる人は少ないでしょうが、自分は周りの人に支えられているんだなと気づいた人は伸びていきます。反対に、いつまでもうるさいなとしか感じられないと、いつしか誰からも相手されなくなります。

感謝する気持ちを忘れないで、日々小さな事の積み重ねを大事にして下さい。